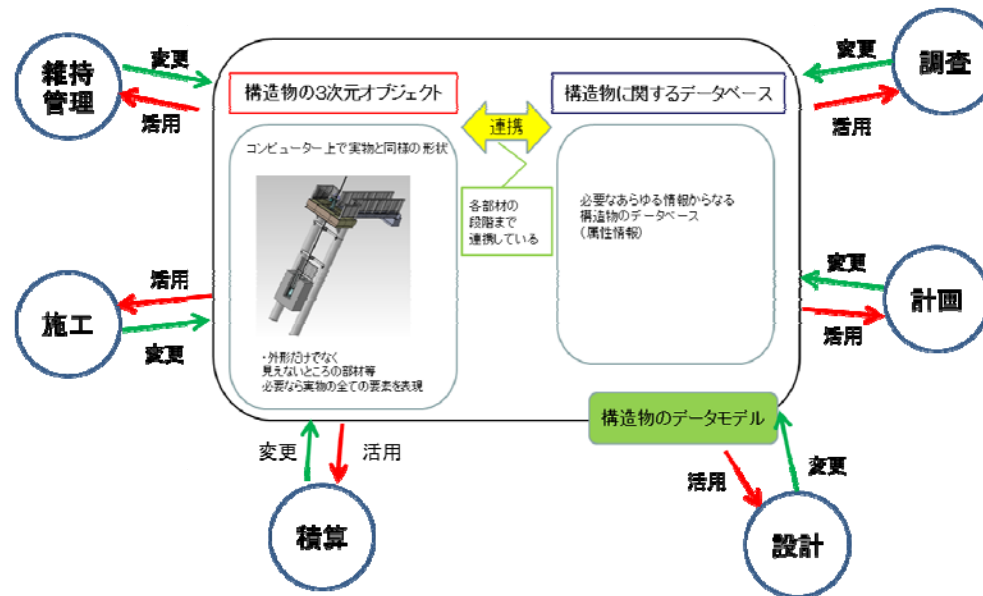


CIMにおける「IFC」とbSIにおける「IFC」の違い

	整備内容	目的	分野
国内 CIM	3次元モデルや属性データベース構築	生産性向上	土工、河川、ダム、橋梁、トンネル
	データの国内標準化 〔IFCの考え方に基づいた国内標準〕		
国際	データの国際標準化 〔IFC（bSIが整備）〕	各国間の業務の円滑化 生産性向上	中心線形、道路、橋梁、トンネル、鉄道、共通スキーマ、港湾、資産管理、オントロジ言語

目指すべき将来像のイメージ

プロセス全体でCIMモデルを共有（様々なプレイヤーによる並行活用・変更）



実現に向けた重要な課題

- **ルールに関する課題【運用面】**
⇒ 建設生産プロセス全体で、発注者やフェーズの異なるプレイヤーが情報を共有できるようにするためのルール
- **ネットワーク環境に関する課題【技術面】**
⇒ 各プロセスで作成・更新されたCIMモデルを様々なプレイヤーが利活用できるようにするためのクラウド環境の構築